宇治市政だより
発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治妙楽160の1
印刷所 有限会社新進堂

人生七十年を喜ぶ
「としよりの日」前後に敬老会

きたる九月十五日は「としよりの日」です。ことしもこの日の前後に市内の婦人会、町内会の方々の手によって敬老会が催され、おとしよりに楽しい一日を送っていただくことになっていますが、この日で招待される七十歳以上のおとしよりは千三百五十人で、昨年の千二百五十九人とくらべると約百人ほど増えています。

戦後、日本人の平均寿命はグングン伸びつづけて、去る八月厚生省が発表したところによると平均寿命は男は六十六歳、女は七十八歳となり、まだ伸びる傾向だといわれています。「人生五十年」といわれた戦前とくらべると、実に二十歳くらい延びて長生きできるようになったわけで、たいへんうれしいことです。

そうしておとしよりをいたわり慰め、おとしよりもまた自分の力で生きようと、ますます自分の力で働くことが、より明るい家庭、明るい社会を築くことになりましょう。

敬老会には婦人会から七十歳以上のおとしよりに案内状が送られますから、ぞろって出席下さいませ。

宇治市では、敬老会の当日、ことしの九月十五日現在で満七十七歳以上（明治十八年九月十五日までに生まれた方）で、三年以上引きつづいて本市に住んでおられるおとしよりに敬老年金（年額十二百円、毎年九月、三月に六百円ずつ）を、ことし八十八歳になられた方には別に赤い坐ぶとんをそれぞれお贈りいたします。

当日、会場でお受け取りできない方は、後日市役所厚生課でお渡しいたしますから、ハンコを持っておこし下さい。

なお、明治十七年九月十六日から明治十八年九月十五日までに生まれたおとしよりの方は、至急に宇治市敬老年金請求書を厚生課へ提出して下さい。用紙は厚生係にあります。

巨椋池水田の空中防除
快晴に恵まれ好成績

初の試みとして注目を浴びた巨椋池干拓田の農薬空中撒布は、去る八月二十二・二十三日の両日ヘリコプター三機を使って実施された。

幸い当日は風一つない晴天に恵まれ、空中撒布には府下唯一の好適地といわれる巨椋池殺菌地帯だけに終始好調に進められ、初日に予定面積の大半を撒き終わる好成績を収めた。

この空中防除では、七百ヘクタールの水田に約二十トンの農薬が短時間に均一に撒布され、しかも薬剤の水稲への附着もよく、従来発芽のためにともすれば徹底防除できなかったイモチ病と二化メイ虫、秋の害虫の防除も完全に果たされ、その効果はきわめて大きいものと見られている。とりわけ心配されていた一般住宅や家畜に対する被害や事故が全くなかったことは、何よりも幸いであった。

今回の空中防除を通じて、巨椋池方面の農家や農業関係者たちが、なるこの空中防除への自信を深めたことは勿論のこと、来年は巨椋池以外の地区にまで普及することが期待される。

農薬の空中撒布に活躍するヘリコプター

一せいに舗装・改修
面目を一新する市内府道

市内と隣接市町村を結ぶ府道京都宇治線ほか四府道の舗装工事や修繕工事が宇治土木工営所の手で今秋から翌年春にかけて一せいに進められることになった。

これら府道は、いままでに舗装されたもの、未舗装のものもあるが、近来の交通情勢の影響などで、道路の状況が悪化し、交通関係者や周辺住民に非常にめいわくがかかり、改修が望まれていたもの。

このほど決まった工事計画によると、先ず、京都宇治線（宇治橋西詰から六地蔵を経て京都へ通じる）が、九月一日から翌年一月までの予定で始められた。場所は大鳳寺橋から三室戸橋間四八〇〇m、事業費八二九万三千円で厚さ三〇cmのコンクリート舗装、同時に点々と破損してあぶなくなっている部分も工費七七万円で修繕される。

宇治瀬田線（宇治橋西詰から宇治川左岸を貨物橋を経て瀬田へ通じる）は、目下設計中であるが、白川浜付替道路起点からダムサイトへむかって五一〇〇mを四〇七万円で舗装される。着手を一八〇万円（うち市負担七二万円）で、それぞれアスファルト舗装されることになり、いずれも九月中旬ごろになり、完成は来年三月の予定。

次に宇治小倉停車場線（宇治駅前から西浦橋まで三三三・五m）は、未舗装の部分を一八〇万円（うち市負担四〇万円）で、黄檗停車場線（京阪黄檗駅から隠元橋へ通じる）は、未舗装の便局から三の内を経て小倉へ通じる）は、未舗装区間のうち、粟村工業所へ入る三叉路から小倉方面へ一四〇〇mを一〇〇万円（うち市負担四〇万円）で向島宇治線（宇治川左岸堤防）は宇治橋西詰から商工会議所附近まで一八〇〇mを一〇〇万円（うち市負担四〇万円）で、完成は来年三月中旬ごろに全部完成される。

市民の権利を守る住民課が実態調査
九月に市民登録

昭和二十七年七月一日に住民登録の制度ができてから、ことしで十年になります。住民登録制度ができる前には寄留制度がありましたが、これは住民登録制度ができて廃止されました。

それでは、住民登録とはどういう制度で、わたくしたちとどんな関係があるのかお話ししましょう。

◎住民登録とは

わたくしたちはだれでも、どこかに一定の住所つまり生活の中心となる場所をもっています。本市の区域内に住所をもっている人は本市の住民です。

住民登録とは、住民をもれなく登録して、その人の居住関係を証明するとともに、いろいろの行政の資料に役立てるための制度です。

◎住民登録の必要であること

すべての人は必ず住所地の市町村役場に住民登録をしなければならないように法律できめられています。

市役所の仕事が正しく円滑に運営されるためには、市を組み立てている市民の一人一人、世帯の一つ一つをしっかりつかまないとできないということは改めて申し上げるまでもないでしょう。住民の数とその内容を確実に知ることは大切なことであります。

◎住民登録の利用

みなさんが住民登録をされると住民票が作られます。この住民票は、戸籍と同様に権利義務に関する公正証書の原本に該当するという最解が裁判上確立されています。住民登録に記載されることがらは名、生年月日、世帯主との続柄、住民となった年月日、それに本籍、筆頭者の氏名などです。

市役所では住民票によって学校の学令簿の編成、印鑑の登録などいろいろの面に利用されています。

さらに住民票の謄本や抄本は不動産登記の各種の免許、認可ならびに国民年金の申請など、広く利用され、また、この住民票に基づいて居住証明、扶養証明、ほ育証明を発行し、みなさんの権利を守るのに役立っています。

◎届け出の励行

住民登録はどんな人が届け出をしなければならないかと申しますと

(1) 昭和二十七年七月一日全国一せいに初めて住民登録を行ないましたが、そのとき登録をしなかった人

(2) 昭和二十七年七月一日以後、他の市町村から本市へ転入し、まだ届けていない人

(3) 同じく市内で転居をし、その届をしていない人

(4) 世帯主や続柄などが変わってまだ届けていない人

これらの方々は、この際至急に届け出をして下さい。市民課の窓口に異動届（転入、転居、変更など）用紙を用意しています。記入は簡単、場合によっては代筆もいたします。

転入、転居、変更の届け出は、転入、転居した日、または変更を生じた日から、それぞれ十四日以内に届け出なければならないことになっています。届け出る人は、世帯主、世帯管者（寮、アパートなどの場合）、本人の順序で届出人のハンコがいりますから忘れずに持ってきて下さい。

正当な理由がなくて十四日を経過すると、過料が科せられることがありますから、届け出は早くして下さい。

住民登録はわたくしたちの日常生活にも密接なつながりを持っています。わたくしたちの日常生活の上で、この住民の資格から生じる権利義務はなかなか多いので、自分はどこの市町村の住民であるということを常に明らかにしておくことが大切です。このためにもこの制度を守り、ぜひ届け出の励行をしていただきたいと思います。

◎実態調査についてお願い

この広報紙がお手もとに届くと、ときと前後して実態調査をし、より正確なものにしたいと思いますので、調査員がまいりましたら、登録の必要ある方は申すまでもなくすでに登録をしておられる方もご協力下さるようお願いいたします。

（市民課）

基本選挙人名簿をつくります

九月十五日現在の基本選挙人名簿をつくるため、近く調査員がみなさんのお宅を訪問いたしますからご協力下さい。

また、調査員がお伺いしない場合は、選挙事務局へ連絡下さい。

この選挙人名簿は近く行なわれる宇治市長選挙には使われませんからご注意下さい。

（宇治市選挙管理委員会）

ゴミ箱は道路外に

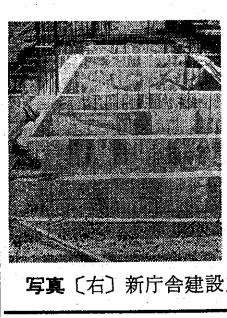
家庭のゴミ箱が道路上に置かれているのを見かけますが、これは交通の妨げになり街の美観をそこないますので、家の庭か、道路外の空地などに置くようにいたしましょう。

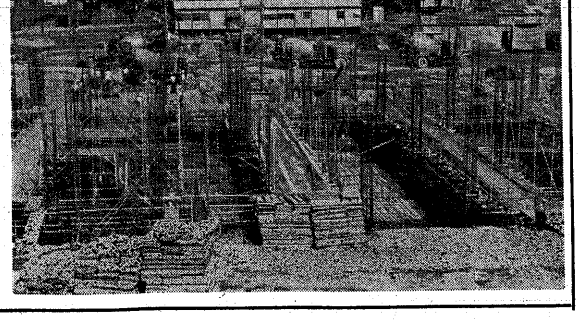
ゴミ掃めの日には、いままでどおり定まった所にまとめて出して下さい。

（厚生課）

新庁舎建設基礎工事順調に進む

7月10日起工式があってから早や秋風の立つころとなったが、この間、新庁舎建設工事は順調に進み現在基礎工事がほとんど終わっている。基礎工事は掘り方、地形工事、鉄筋組みコンクリート打ちの順序で行なわれ、掘り出された土砂6000m³（ダンプカー4トン車2000台分）使用された鉄筋150トン、生コンクリート700m³（ミキサーカー230台）で、工事全体で、鉄筋350トン、生コンクリート3500m³というから、その規模は大きい。9月にはいよいよ地下1階の仮枠工事に取り組む予定。





写真〔右〕新庁舎建設工事現場全景、〔左〕打ちおわった基礎コンクリート

住民登録人口
（37年7月31日現在）

世帯数	13.390世帯
人口	57.480人
男	31.729人
女	25.751人

7月市人口の動き
出生55人 死亡18人
結婚27組 離婚5組

市域の面積
67.29平方キロメートル

奨学生を募ります

募集人員	高校生 5人 大学生 3人
申込期間	9.17～9.29
選考	奨学資金貸付審議会において選考、10月に決定
奨学金	高校生1カ月800円、大学生1カ月1,500円、37年4月にさかのぼって支給

詳しいことは厚生課社会係へ

赤十字募金
中間報告

赤十字募金は、毎年五月から全国一せいに行なわれていますが、宇治市でも目標額六一万五千円に対して現在五八万円（九二％）の募金成績をあげています。これは市民のみなさんの暖いご協力のたまものと心からお礼を申し上げますとともに、本年はぜひこの目標額が達成できるよう併せてご支援をお願い申し上げます。

日本赤十字社京都府支部
宇治市地区長 新庄義信

水道ニュース

配水管の増設

槇島村と三室戸に新しく上水道配水管を増設しています。

工事中は通行などにめいわくをおかけしますが、工事が終わりましてもしばらくは自然で仕上がりまして後日舗装することになりますから歩行には十分ご注意下さい。

この工事の完成と同時に給水工事の受付を始めますから、水道課または宇治市指定の公認業者へ申込んで下さい。

水道の廃止は

転出などにより水道を廃止される方は、水道課へ廃止の手続をして下さい。廃止手続をしないで転出されますと事務処理上困りますのでぜひご連絡下さい。

メーターはいつも見易く

毎月検針に廻りますが、水道メーターの上には物を置かないように、いつでも見易いようにして下さい。

ろは福祉のいずみ……

社会福祉事業法ができて10年、この間わが国の経済は高度に成長して国民生活を向上せしめたが、一面所得の格差ははなはだしく社会保障制度の充実はいよいよその必要性を痛感させられるものがあります。このときにあたり、愛とたすけ合いの精神と、たゆみなき実行力とがこれに対処する唯一の源動力であると考えます。宇治市社会福祉大会を記念し、その活動の母体である「社協」を紹介しましょう。

ひろまる福祉の活動
社会福祉協議会が中心体

とりくもう社会問題

わたくしたちが道を歩いていても、新聞やテレビを見てもまたラジオを聞いていても、見過したりきき流していることが多いのではないでしょうか。しかしよく考えてみますと、そこにはたくさんの社会福祉事業の対象があります。親子心中があった、身寄りのない老人がいる、幼い子供の生命が交通事故や水難事故で失われる、そしてその一つ一つのできごとは、そのようになった原因がそれぞれ、その人の責任によるものと、社会の責任によることがわかってきます。一時代前の日本は一切を個人の責任に帰して省みなかったが、いまでもまだこの傾向が残っていて、見過されたりきき過されたりしている場合が多いようです。

さて、だれでもわたくしたちの住んでいる街が明るく豊かにしあわせであることを願わないものはないでしょう。つまり、福祉郷土の建設ということは、全国民の念願であるといえます。

社会福祉協議会（社協）はこの精神を支えとしてつくられたものです。そして社協は、そこに住んでいる人のみんなのしあわせをつくるにはどうしたらよいかと、いろいろの立場の人びとが相談し自主的に計画をすすめてゆくための中心体となっています。

みんなそろってすくすく育つ乳児たち（宇治保育所乳児部で）

社会福祉協議会のしごと

わたくしたちの住んでいる宇治市にも「宇治市社会福祉協議会」がつくられ、市役所の福祉事務所に事務局をおいて次のような仕事をしています。

世帯更生資金など貸付

生活に困っている人に対する福祉活動は、生活保護法を中心にいろいろ対策がとられていますが、まだそうした手の及ばない人びとがたくさんあります。これらの人びとに適切な指導と援助を与えて被保護階層への転落を防ぎ、進んで自立更生の途を講ずることは社会福祉を増進するために最も重要なことであるでしょう。このためこれらの人びとに、更生に必要な資金と健康を守るための医療費の貸付を行なっています。貸付種類は次のとおり。①更生資金②身体障害者更生資金③生活資金④住宅資金⑤修学資金⑥療養資金⑦災害援護資金

心配ごと相談所

社会福祉を殿に進めるためだれでも相談しやすい「心配ごと相談所」をつくり、毎週水・金曜日の午後一時から午後四時まで川東公民館で運営しています。相談委員は、社会事情に精通した学識経験者で、またそれぞれ専門家の協力を得て最も良い方法を助言、指導して心配ごとがうまく解決するように手助けをしています。

共同募金運動

毎年十月に行なわれている「赤い羽根募金運動」は唯一の社会福祉資金をつくる尊い運動でありますが、社協は共同募金会と手を結んでこの運動を進めています。昨年は目標額七七万七千円に対して募金額は八六万四千円という好成績をあげています。

年末たすけあい運動

生活に困っている世帯の人びとが希望をもって新しい年を迎えてもらうために、毎年地域のみなさんの協力によって「年末たすけあい運動」を行なっています。昨年暮は三万円が集められ、市内の被保護世帯、単身入院患者、養老施設に入っている人びとに配分されました。

宇治茶の持ち寄り運動

毎年市内の業者から宇治茶の寄贈をうけ、これを歴代二十数カ所の福祉施設を慰問して贈っています。ことしは千四百kgのお茶が集められ、各施設に配分されます。

社会福祉金庫

福祉金庫は、平等院の「しあわせの鐘」の鐘つき料や、一般からよせられた寄附金を資金として市民の中で生活保護をうけている人や法外援護の必要があると認められる人びとの生活費あるいは事業費として、この資金を貸し付けしています。昨年までの貸付の状況は次のとおり。

（単位　千円）

貸付金	返済金	残額
二、八三四	二、三七七	四五七

貸し出しは、個人の場合一口五千円以内（無利子、期限三カ月）、団体の場合一口二万円以内（手数料一万円につき百円、期限三カ月）です。

社会福祉会館の建設

各種福祉団体の活動の基地となり、あるいは自由に出入りできる市民の憩いの場所となる社会福祉会館を建設する目的で、この建設資金の蓄積を始めています。

その他

社会を明るくする運動、青少年の健全育成をはかる行事とか各種福祉団体に相応の援助をしています。

社協の予算

当協議会の予算は、共同募金配分金、市の助成金、寄附金などを財源として、社会福祉事業を進めています。

予算額　一、三〇一、九〇〇円

内訳　事業費　九四三、三〇〇円
　　事務費　三五八、六〇〇円

共同募金の達成へ
10月1日から31日まで

戸別募金、職域募金、街頭募金にみなさんのご協力をお願いします。

宇治市社会福祉大会の催し

宇治市社会福祉大会を開きます。市民のみなさん、こぞって参加下さい。

日時　九月二十三日　午前九時から
場所　宇治市宇治塔ノ川　生長の家別格本山拝殿
大会内容
①功労者表彰
②寄見発表
③宣言決議
④慰安演芸　漫才、ブラスバンド演奏、その他
主催　宇治市
宇治市社会福祉協議会

ご寄附ありがとうございました

◇粉茶

例年府下の福祉施設へ慰問品として贈る粉茶を市内の茶業者から寄贈をいただいておりますが、ことしは次の方々から一四〇〇kgのお茶を寄附いただきました。

このお茶は当協議会から近く府下三十数カ所を慰問してお贈りいたします。

茶業者から寄贈された粉茶の山

◇寄附金

七月二十三日から八月十七日まで当協議会によせられた寄附金は次のとおりです。

▽七月二十八日　広野食堂から二千円（洛南タイムス社経由）
▽七月二十三日　楓島町、藪内まさえさんから「養老施設へ送って下さい」と五千円（宇治警察署経由）
▽七月二十一日　神明宮東、松本直樹氏から七百円（洛南タイムス社経由）
▽七月一日　匿名で百円（宇治警察署経由）
▽八月十六日　匿名で千円（洛南タイムス社経由）
▽八月十七日　田辺町大住の乗松明さんから五百円（宇治警察署経由）

これらの寄附金は、市内の恵まれない方々の福祉増進に役立たせていただきます。

どうもありがとうございました

（宇治市社会福祉協議会）

上林春松本店、能勢孫市商店、小山元次郎商店、辻利兵衛本店、伊藤久本店、松北園茶店、林園製茶会名会社、宇治川製茶株式会社、佐久間茶店、辻利一本店、中村藤吉本店、小山政次郎商店、山田園、桑原善助本店、森下安之助共栄製茶株式会社、北川半兵衛茶園、西村喜十郎善兵屋店、西村秀雄善兵屋店、角田与太郎茶店、入江宗太郎本店、有限会社松風茶園井本店、松阪屋今資本店、岩井勘塩本店、日の出園、高村三元園、大森長寿園、長谷川久次郎茶店

山の子街の子が交歓
笠取子供会の便り

近ごろ、校外生活指導に子供会補導者の熱心に苦労な活動が、当宇治市は申すに及ばず、山城地方全域にわたって活発になってきつつあるふしぶしを見かけることはたいへんうれしいことです。

私は、子供のしあわせのためには、どれほどつくしても絶体に無駄にはならないと信じています。

子供にとって最も有効な投資（物心共）方法だともいえるのではないでしょうか。

本校下の子供会補導者間におきましても、子供たちの夏休み中の単調な生活をうしたらたのしく有意義に暮らせることができるかということについて、子供の自主的な意見や希望を入れつついろいろ協議し、そして決められたことを着実に積み重ねてまいりました。この実践の一二二名の子供たちの夏休み中の生活指導に介して、みなさん方の子供会活動にてらして何かと批判頭ことができましたら幸いに思います。

楽しい水泳場

夏休み中子供たちのあこがれの一つに、水泳や水遊びがあります。本校育友会でも、去る七月、子供や保護者、教師が一しょに高浜の海水浴に行って来ましたが、何といいましても水泳は毎日、毎日のことです。

（写真は山深い笠取の簡易水泳場）

そこで各部落の子供会ごとに、谷川をせきとめて簡易水泳場を作りました。その一つ、東笠取川大洞橋下流で川をせきとめ、底をきらえてつくった巾五m、長さ二〇m、深さ〇・五～一・二mのプールで、ここでこの地区の小・中学生二十一人が毎日話し合い泳ぎをしてきました。

私はこの水泳場こそ、外で味わうことのできない楽しい場所だと思っています。といいますのは、この地区の保護者であり補導者である森田旭氏と大島典氏がとても子供を大切にされたからです。勿論プールは、この方々が、土砂やいなば材料を持ちよって作られたものです。しかも毎日毎日交代で午後一時から二時まで水泳監視を続けられました。それにもまして補導者を中心として子供たちが社会人としての人間関係を学びとっていたにちがいないと思うことです。学校としましても同補導員に頭の下がる思いがします。

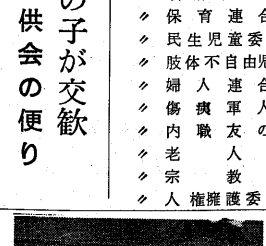
心通った親善野球

去る八月十八日、宇治市子供会の代表として鬼道、校青空子供会が笠取子供会を訪ねてくれました。宇治市少年補導研究協議会長代理長谷川三四氏のごあいさつはじまり、子供、補導者、保護者、教師らが一しょに、そよそよと吹きくる山風にあたりながら、青空子供会補導員吹野盛男氏や鬼道二校笠嶋先生を中心に、時のたつも忘れて、室内ゲームに興じ、午後は笠取子供会チームと青空子供会チームの交歓ソフトボール試合をしました。両チームとも小・中学生と補導員二名を加えた混成で試合はたいへんなごやかに進められました。結果は都会チームに一日の長あってか、七回戦で十七対六で青空チームの勝となりましたが、試合を終わって、みんな笠取の青空のようにサバサバとして楽しいものがありました。

校門でお別れのあいさつをして手をあげた笠取子供会の全部の手は自動車がはしの影にかくれるまでふりつづけていました。子供も一日であったことを、とくに宇治市少年補導研究協議会と鬼道二校子供会に紙上を通じてお礼を申し上げます。

これらは笠取子供会活動の一面ですが、希望を「一歩一歩」と成長をとめない子供一にかけて、全宇治市の校外補導者がさらに前進するようお願いして筆をとします。

（笠取小校長　吉川与四雄）



補導員もまじってなごやかにソフトボール

市内の社協組織団体

宇治市遺族連合会
〃　母子連合会
〃　少年補導研究協議会
〃　身体障害者連合会
〃　保護司連合会
〃　引揚者連合会
〃　保育連合会
〃　民生児童委員会
〃　肢体不自由児協会
〃　婦人連合会
〃　傷病軍人会
〃　内老人会
〃　老人教護会
〃　宗教護持会
〃　人権擁護委員会